

## 【調査結果詳細】

### ■ 調査概要

1. 調査期間： 2008年2月15日（金）～17日（日）
2. 調査対象： 全国20歳以上の女性 1,000名
3. 調査方法： インターネットによりアンケートを実施。アンケートモニターより対象者を抽出。

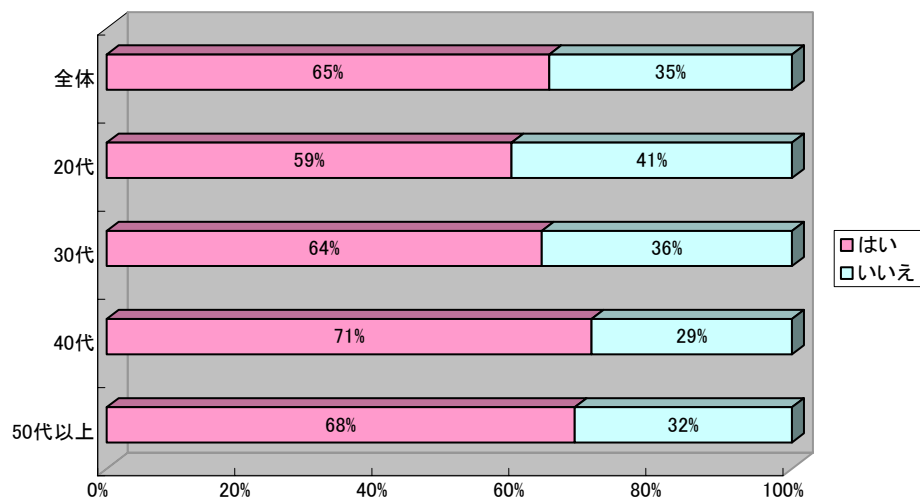
### ■ 回答者構成比

	20代		30代		40代		50代以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未婚	141	59.5%	104	24.0%	35	15.3%	11	10.9%	291	29.1%
既婚	96	40.5%	329	76.0%	194	84.7%	90	89.1%	709	70.9%
計	237	100.0%	433	100.0%	229	100.0%	101	100.0%	1,000	100.0%
仕事有	132	55.7%	218	50.3%	131	57.2%	38	37.6%	519	51.9%
仕事無	105	44.3%	215	49.7%	98	42.8%	63	62.4%	481	48.1%
計	237	100.0%	433	100.0%	229	100.0%	101	100.0%	1,000	100.0%

### ■ 6割以上の女性が健康の不安を抱いている

健康に対して不安があるか尋ねたところ、全体の64.6%が「不安がある」という回答でした。年代が高い程、その比率は高まる傾向にあります。20代でも59.1%の女性が健康に対して、不安を抱いているという結果でした。

#### Q：現在、健康に対して不安はありますか？

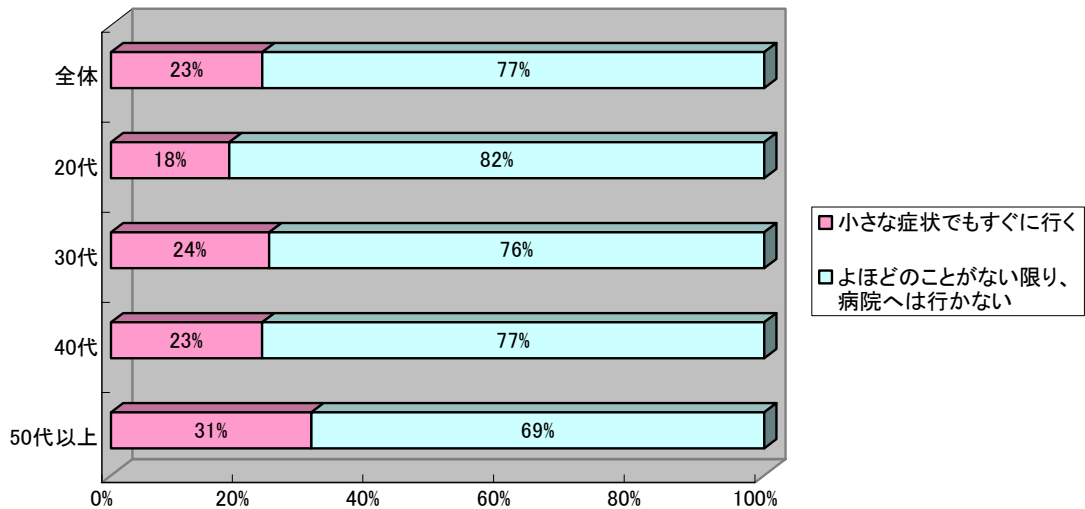


## ■ 8割近くの女性が余程のことがない限り病院へは行かない

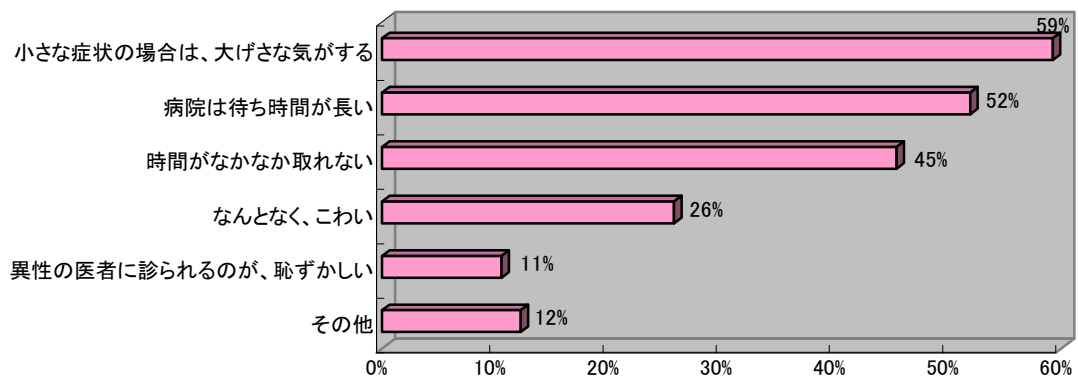
一方で、体に何か症状が出た際に、「すぐに病院へ行く」と回答した人は、全体の23.2%であり、20代では18.1%という結果でした。

病院へ行かない理由としては、「小さな症状の場合は、大げさな気がする」(59.2%)、「病院は待ち時間が長い」(52.0%)、「時間がなかなか取れない」(45.4%)といった回答が上位にきました。特に仕事を持つ女性の場合、「時間がなかなか取れない」(54.8%)と回答した人の比率は更に高まり、多忙な生活を送る現代女性の一面が伺えます。

### Q: 体に何か症状が出たら、すぐに病院へ行きますか？



### Q: すぐに病院へ行かない理由は何ですか？(複数回答可)

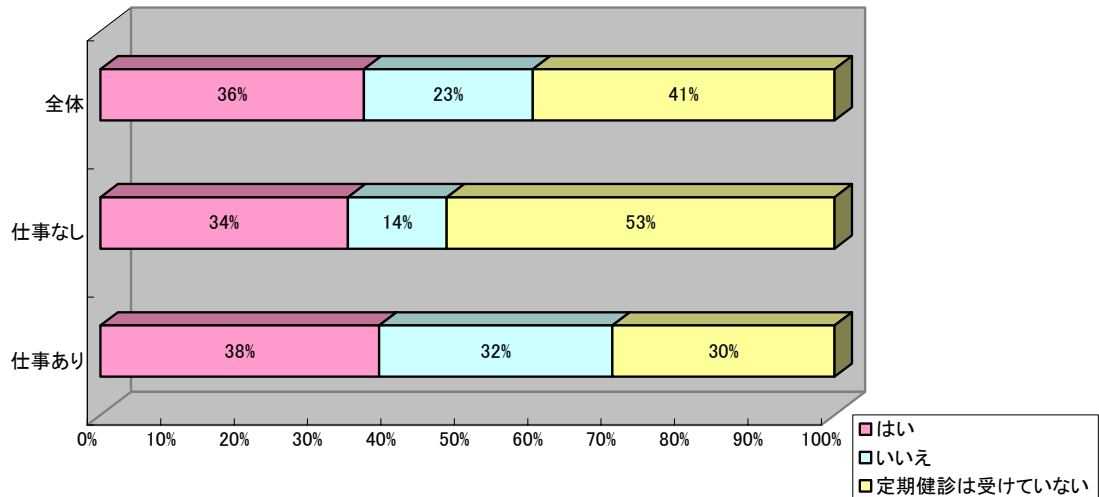


#### ■ 4割強の女性が定期的な健康診断を受けていない

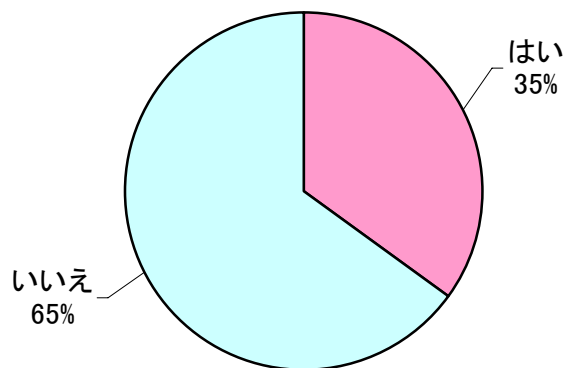
定期的な健康診断に関する質問を行ったところ、定期健診を受けてない人の割合は全体で41.1%でした。特に仕事を持たない女性の52.8%もが定期健康診断を受けていないと分かりました。

また、定期的な健康診断以外に、病気の予防や早期発見のため、積極的に医療機関を利用している人は、全回答者の34.9%でした。

Q: 定期健診を受ける場合、女性特有の検査項目も含まれていますか？



Q: 病気の予防や早期発見のため、会社や自治体等での定期健診以外に医療機関を利用していますか？

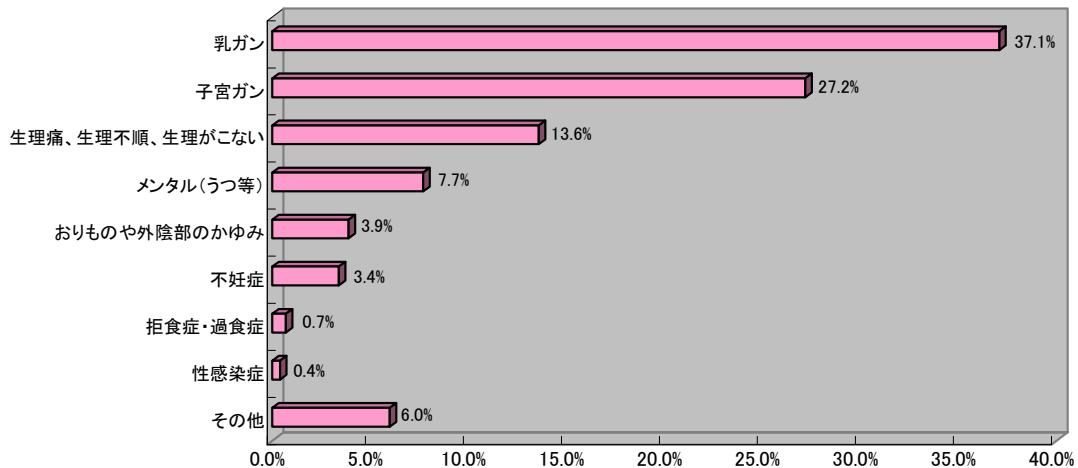


## ■ 最も不安に思う女性特有の疾病は、「乳ガン」、「子宮ガン」

最も不安に思う女性特有の病気・症状を尋ねたところ、「乳ガン」(37.1%)、「子宮ガン」(27.2%)、「生理に関する症状」(13.6%)が上位にきました。

### Q: 最も不安に思う女性特有の病気・症状は何ですか？

(1番としての回答)



## ■ 普段の相談は男性に、女性特有の疾病は女性に相談したい

「体に何か症状がある際、まず誰に相談しますか？」と尋ねましたところ、全回答者の中で「母親」、「女性の友人・同僚」といった『女性』と回答した人は40.4%であったことに対し、「夫」や「恋人」といった『男性』と回答した人は50.5%となり、『男性』の方が女性の相談相手として数多く選ばれていました。既婚者に限れば、相談相手として、「夫」と回答した人は63.5%となりました。

しかしながら、健康に関することでも、それが女性特有の疾病に関することとなると、『女性』と『男性』の比率が逆転し、全体で『女性』が56.3%、『男性』が28.8%となりました。既婚者に限っても、女性特有の疾病の相談相手として「夫」を選んだのは、36.7%でした。

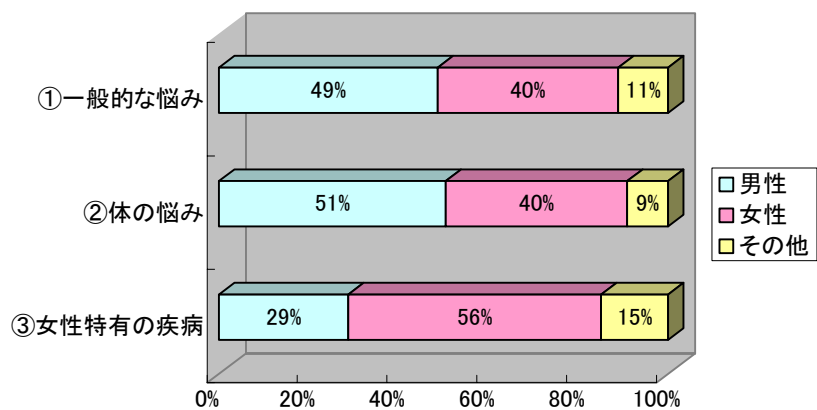
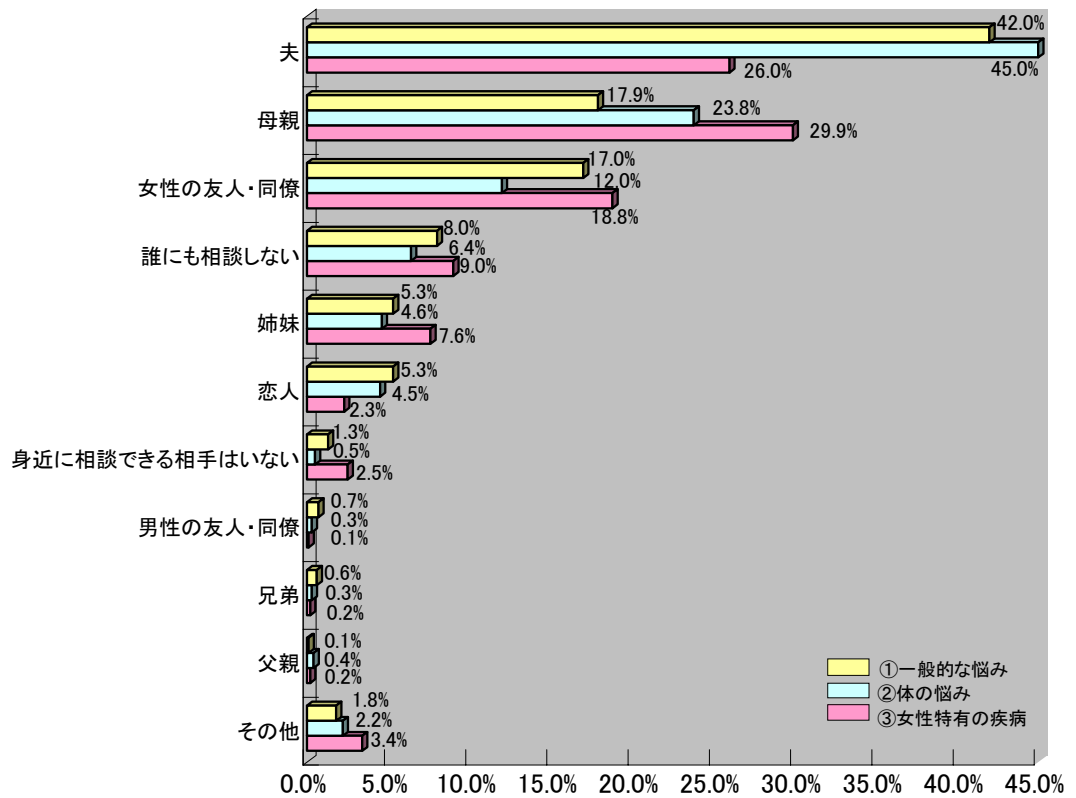
Q: 誰に悩みを相談しますか？

①一般的な悩みの場合

②体の悩みの場合、

③女性の疾病に関する悩みの場合に関して（それぞれ1番に相談する相手）

【全体】



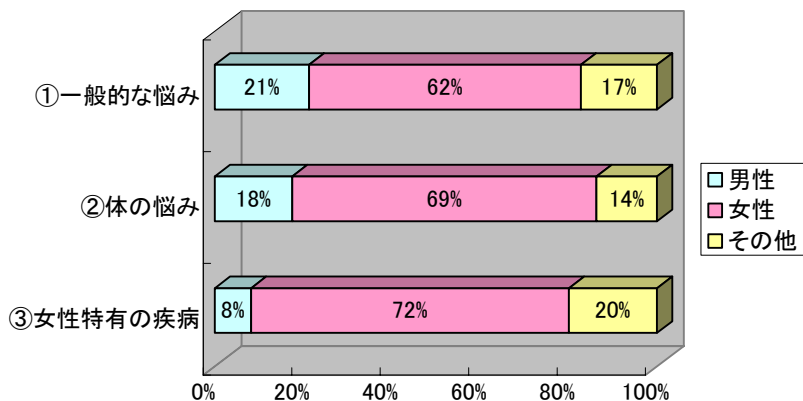
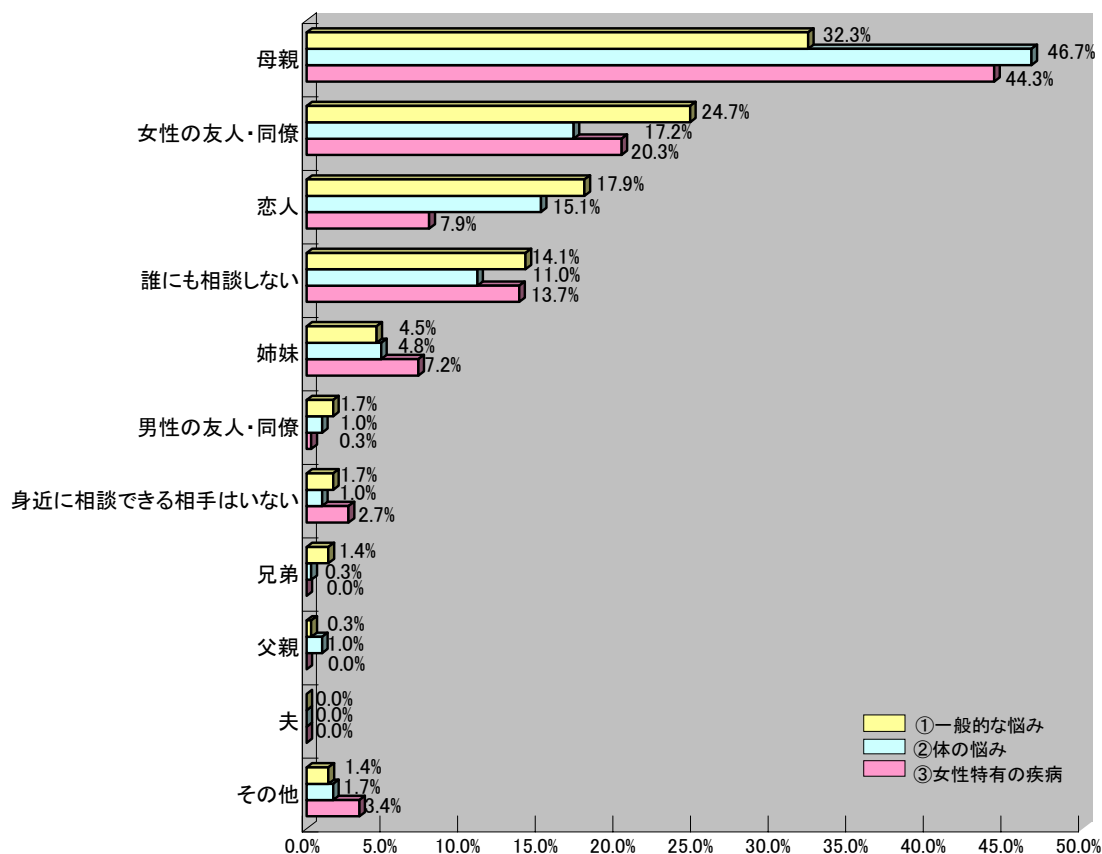
Q: 誰に悩みを相談しますか？

①一般的な悩みの場合

②体の悩みの場合

③女性の疾病に関する悩みの場合に関して（それぞれ1番に相談する相手）

【未婚者】



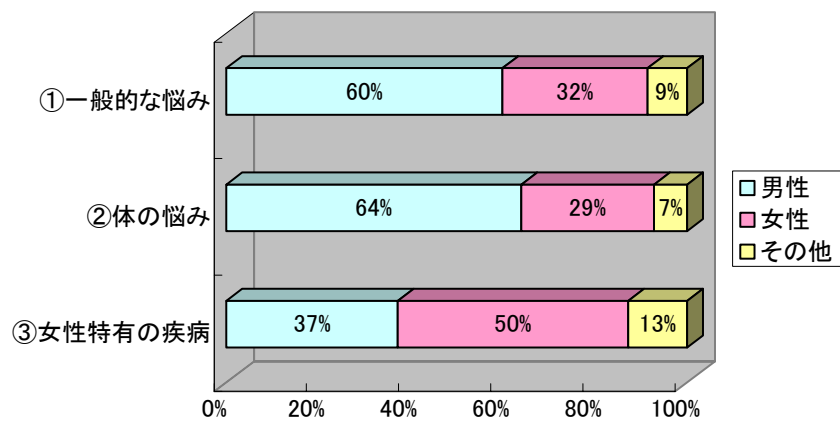
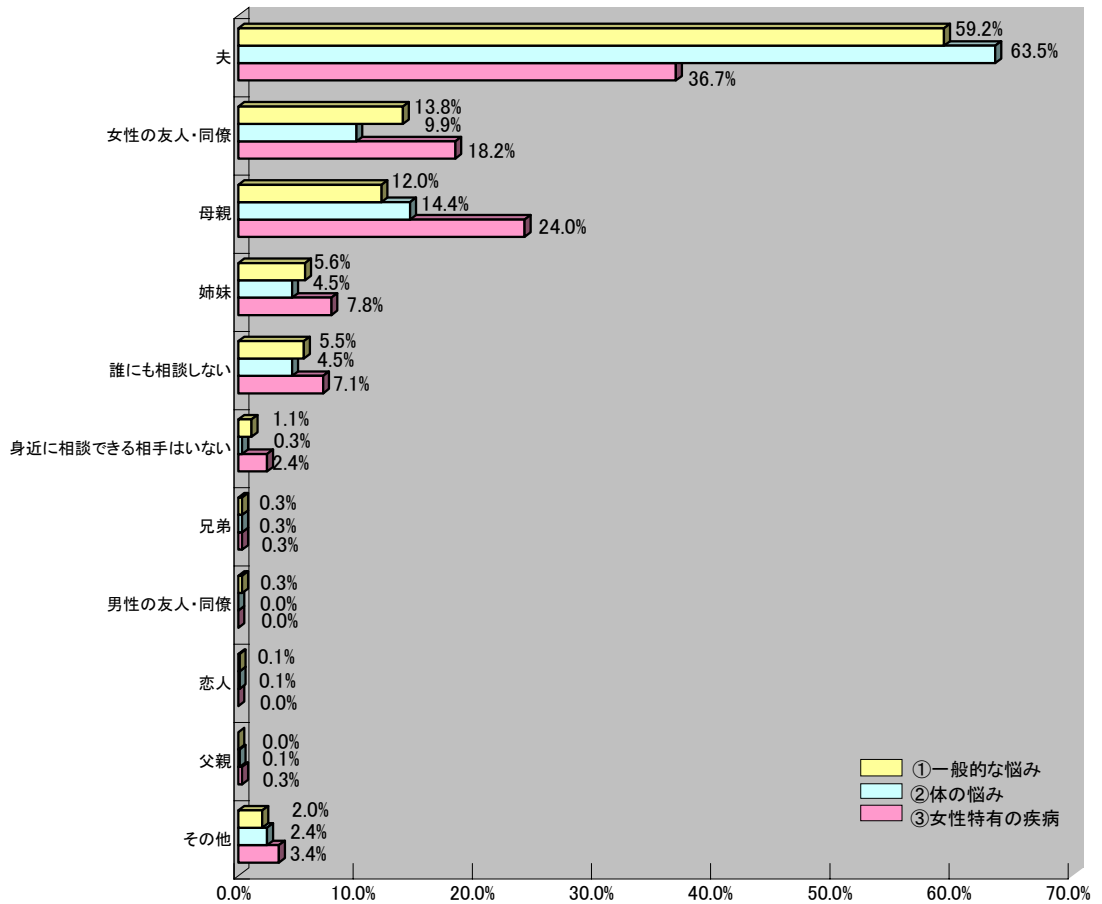
Q: 誰に悩みを相談しますか？

①一般的な悩みの場合

②体の悩みの場合

③女性の疾病に関する悩みの場合に関して (それぞれ1番に相談する相手)

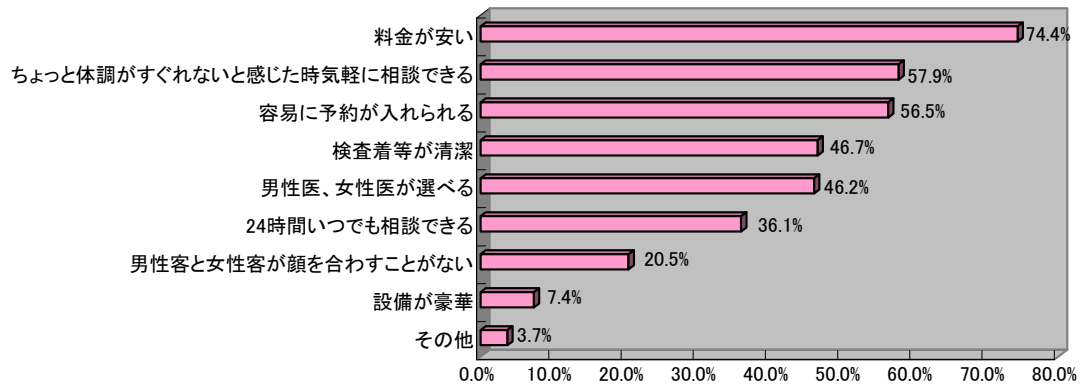
【既婚者】



## ■ 女性が求める医療サービスとは

多忙な現代女性たちだけに、医療サービスに求めるものとしては、「料金の安さ」(74.4%)に続き、「気軽に相談したい」(57.9%)、「予約が簡単に入れられる」(56.5%)といった回答が上位にきました。

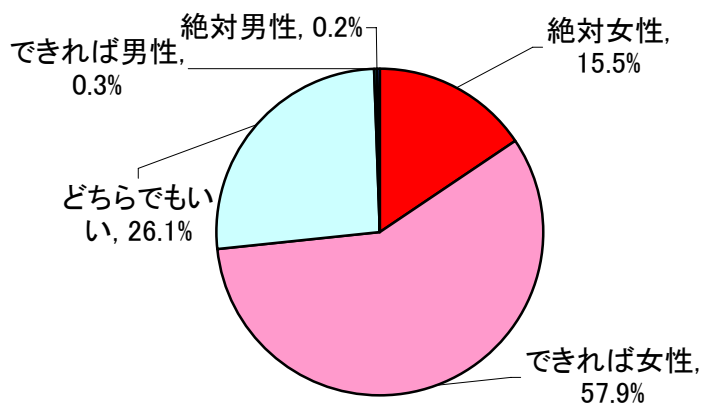
Q: 医療サービスや医療機関全般に要望するサービスがあれば下記からお選びください。



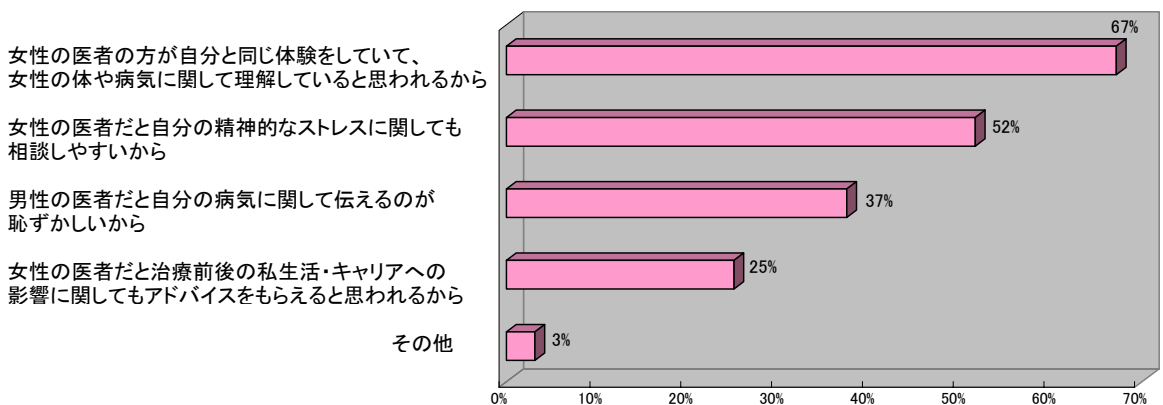
■ 7割以上の女性が、女性特有の疾病は、女性医師に診察してもらいたい

「女性特有の疾病を患った場合、女性と男性、どちらの医者に診てもらいたいか」という問いに関しては、**全回答者の7割強は「女性の医者に診てもらいたい」との結果でした。**理由としては、「自分と同じ体験をしていて、女医の方が、女性の体や病気に関して理解していると思われる」(67.2%)、「精神的なストレスに関して相談しやすい」(51.6%)、「男性の医者だと自分の病気に関して伝えるのが恥ずかしい」(37.5%)といった声が多数寄せられました。

Q: 女性特有の病気を患った場合、女性の医者と男性の医者のどちらに診てもらいたいですか？



Q: 何故、女性の方が良いと思われませんか？

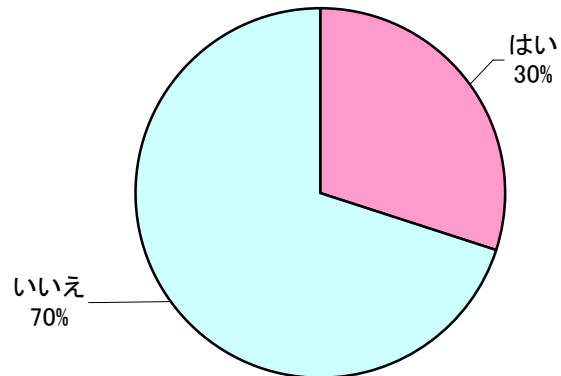


## ■ 知られていないレディースドック

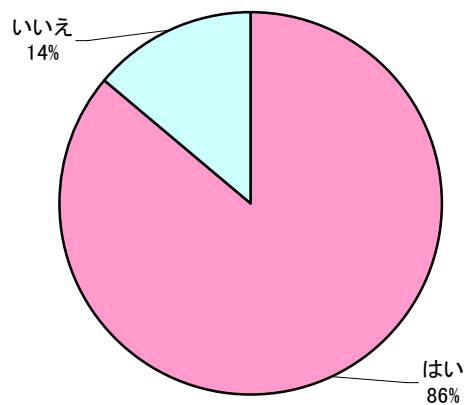
女性特有の病気に関する項目を検査する人間ドックであるレディースドックの存在を知る人は、全体で29.9%でした。

一方で、乳ガンや子宮ガンなど女性特有の病気の早期発見、予防のためレディースドックを受けてみたいと回答した人は、全体で86.0%にのぼりました。

Q: 女性専門の健康診断をするレディースドックの存在を知っていますか？



Q: 乳ガンや子宮ガンなど女性特有の病気の早期発見、予防のためレディースドックで検診を受けてみたいと思いますか？



## ■ 有名人で理想の女医は？

今回の調査では、併せて有名人の中での理想の女医を尋ねてみましたが、第1位は、「救命病棟 24時」シリーズでの熱演が印象深い松嶋菜々子さん(115票)でした。第2位は、吉永小百合さん(82票)、第3位は、黒木瞳さん(73票)でした。

10位までの結果は、以下の通りです。

1位	松嶋 菜々子さん(115票)	6位	藤原 紀香さん(30票)
2位	吉永 小百合さん(82票)	7位	柴田 理恵さん(29票)
3位	黒木 瞳さん(73票)	7位	和田 アキ子さん(29票)
4位	久本 雅美さん(53票)	9位	高畑 淳子さん(24票)
5位	天海 祐希さん(34票)	10位	高島 礼子さん(23票)
		10位	小林 聡美さん(23票)